

誘導

誘導

1. 原子吸光分析法、融合結合プラズマ発光分析、融合結合プラズマ質量分析、蛍光 X 線分析法について、それぞれの原理と特徴について 100 字以上で述べよ。また、これらについて、(1) 測定可能元素、(2) 検出感度、(3) 期待される分析対象 を表記し、長所と短所についてもまとめよ。表や図を用いて説明してもかまわない。
2. X 線管球による X 線とシンクロトロン放射光の発生原理と特徴について、それぞれ 100 字数以上で述べよ。表や図を用いて説明してもかまわない。
3. X 線回折法と X 線吸収微細構造法の原理と特徴について、それぞれ 100 字数以上で述べよ。表や図を用いて説明してもかまわない。

この試験の採点は、最も記述が優れていた解答を 100 点、最も劣っていたもの(白紙を含む)を 0 点として、各解答を判断します。出題の意図を的確に捉えており、記述内容が充実していれば、それだけ高得点になります。がんばってください。